

第3回 執拗な攻撃の始まり

2000年12月、吉田氏は、JR連合組合員とキャンプに行ったことを、斉藤被告にうっかり喋ってしまったうえに、国労組合員をJR東労組に勧誘するハガキ活動への参加をしつこく迫られたことに反発し、はずみで脱退発言をしてしまいました。これがきっかけとなり、12月28日、JR東労組浦和電車区分会による「事情聴取」を皮切りに、執拗な攻撃が始まったのです。

JR東日本では、労働組合への加入は自由であり、嫌な組合なら脱退すればよいのですが、JR東労組に加入していなければ、職場で無視される、昇進試験に合格しない、意に添わない転勤を命じられる、など徹底して差別されると言われていました。実際、JR東日本は「JR東労組を基軸としている」と公言し、彼らに迎合した労務管理を行っており、とくに運転職場では、JR東労組の横暴を管理者が制止することさえできず、事実上、組合が職場を支配しているような状態が続いてきたのです。

事件を生んだ特異な組織論理・「積極攻撃型組織防衛論」

JR総連・JR東労組が、常識では考えられないほどに、執拗かつ陰湿な糾弾、恫喝を敢行するのは、その背景に、彼らの特異な組織論理があると考えられます。

まず、組織の強化のために、内部に敵をつくり、攻撃することによって組織を固める「積極攻撃型組織防衛論」なる論理が貫かれています。JR東労組の役員討議資料でも、「浦和電車区事件」に関して、「敵対矛盾として現れ存在する吉田(注：光晴氏)に対する闘いは、『積極攻撃型組織防衛論』からして全くの正当な戦いである」と記載されています。

つい最近でも、JR東労組元会長の松崎明氏は、「われらのインター (vol.12)」なる雑誌の「リーダーたちへ、5年先を見つめ、悔いのないたたかいを」という論文で、次のように述べています。

...積極攻撃型組織防衛論というのは世界にまったくなかつたんですから、われわれが創ったんですから。マル生だって世界でどこも勝てていない。われわれだけが勝てた。ちゃんと歴史に学んでほしい。歴史に学ばずに、「積極攻撃型組織防衛論？松崎に勝手に言わせておけ」、そんなことを言っている人がいるらしいけれど。...これに対してはわれわれは断固として闘う。現れ形態はソフトであろうと「内部の敵」なんですから。... (中略) ...だから積極攻撃型組織防衛論というのは、これまでの世界の労働運動の敗北の歴史のなかから、勝利の展望を切り拓く唯一の理論だと。

一般の方には理解しにくいのですが、JR東労組に敵対する者を「組織破壊者」と規定し、徹底して攻撃することで、団結を強化しようとする組織方針が貫徹されていたとみることができます。この論理に立てば、人間の尊厳を否定しようと、安全を破壊しようと、組織防衛のための行動は、すべて正当化されるということなのでしょう。(次号に続く)

[第2部]

執拗な攻撃の始まり





上原潤一
浦和電車区
分会長

ハガキ
行動が
できないと
いうのは
どういう
ことなんだ



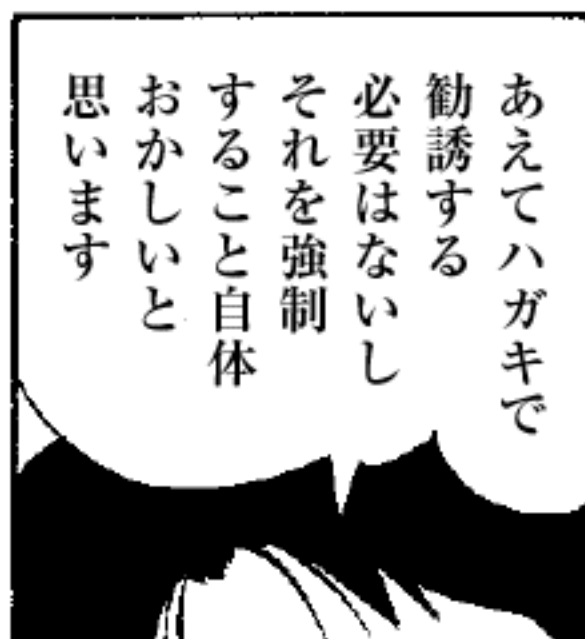
どの労働組合に
入るかはボクらと
同じように国労の
人達も自由だと
思うからです



しかし
実際には
強制して
いるような
ものじゃ
ないですか



とりたてて強制は
していないつもりだ

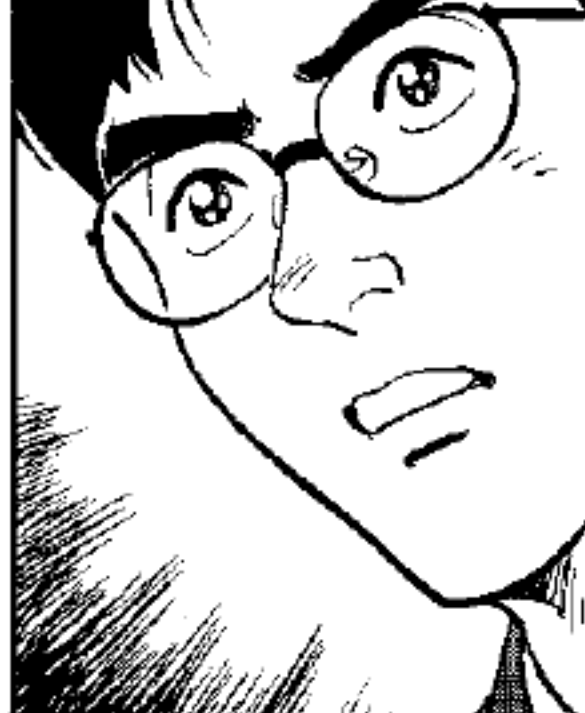


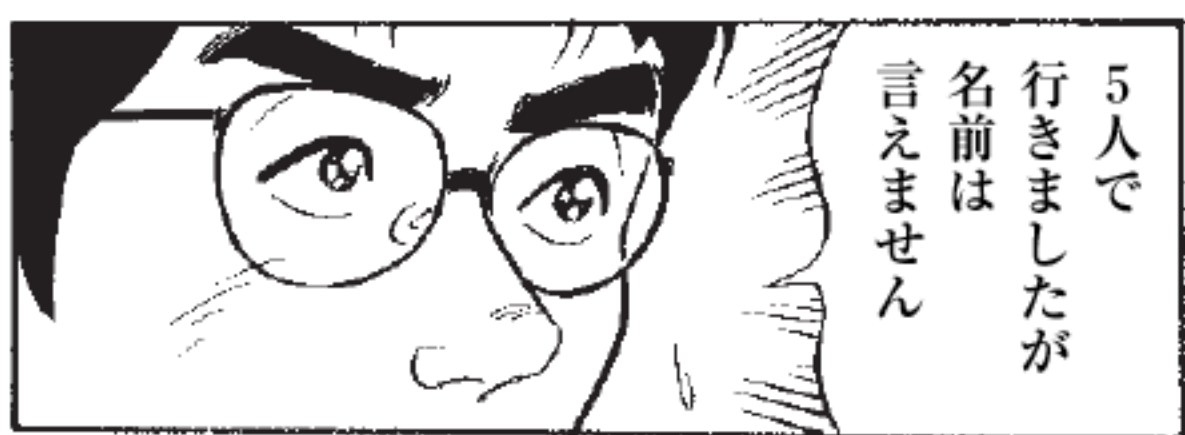
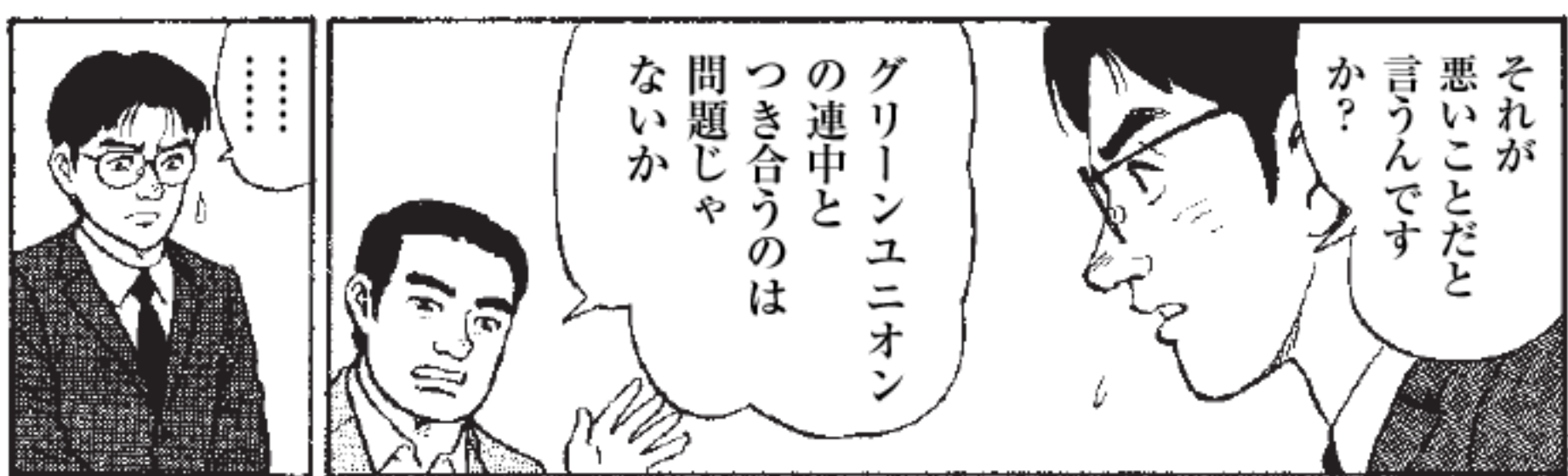
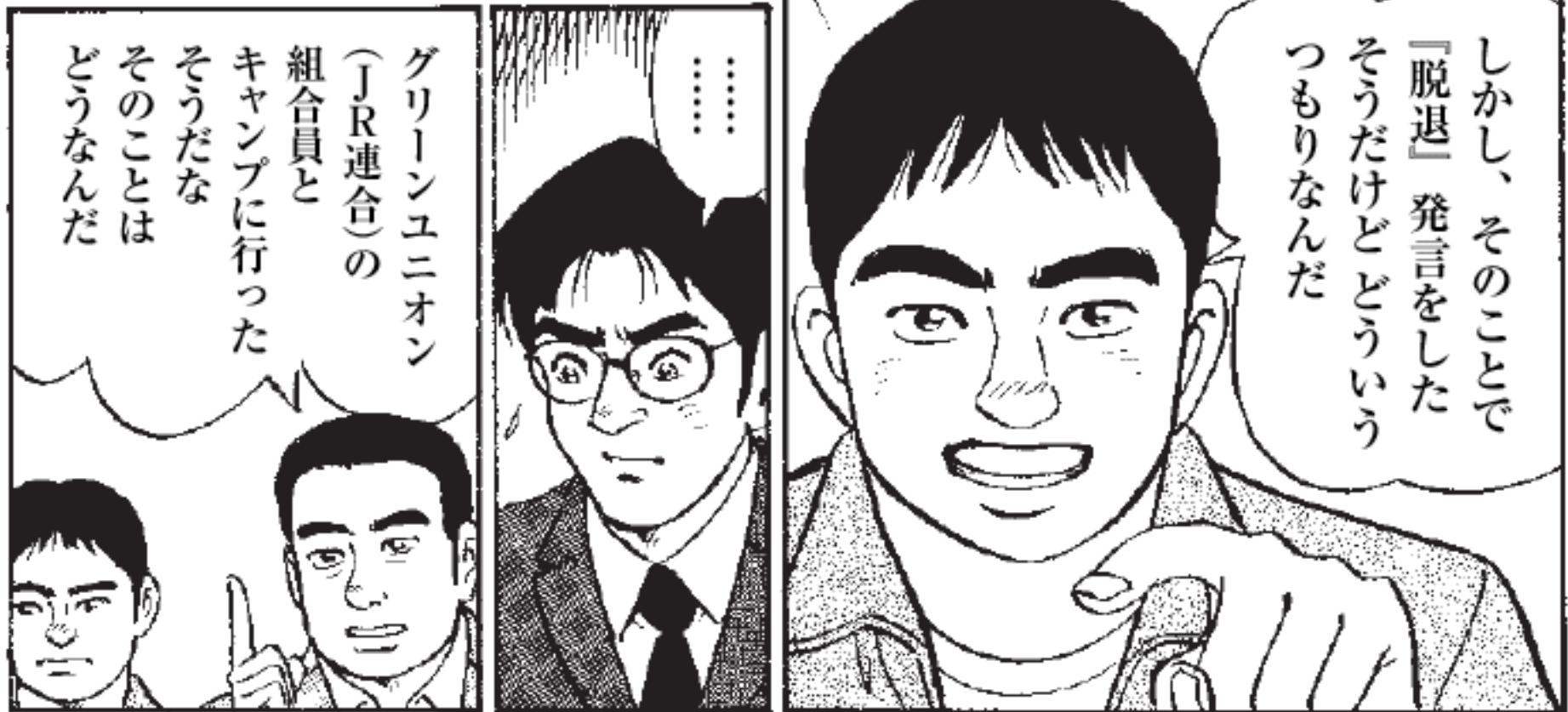
あえてハガキで
勧誘する
必要はないし
それを強制
すること自体
おかしいと
思います



大宮地本
青年部長

ハガキ行動を
発案したのは
俺なんだ







組合を脱退する
ことの意味が
分かっているのか

こうして2時間にわたり、
吉田氏の発言をめぐって
役員からの問い詰めが続いた。
しかしこれは、このあと
襲いかかってくる苛酷な舞台の、
ほんの幕開けに過ぎなかった。



それで
いいんですか？



脱退発言の
ことですが
ボクの軽はずみ
だったと思います

はい
すみませんでした

撤回したいと
いうこと？

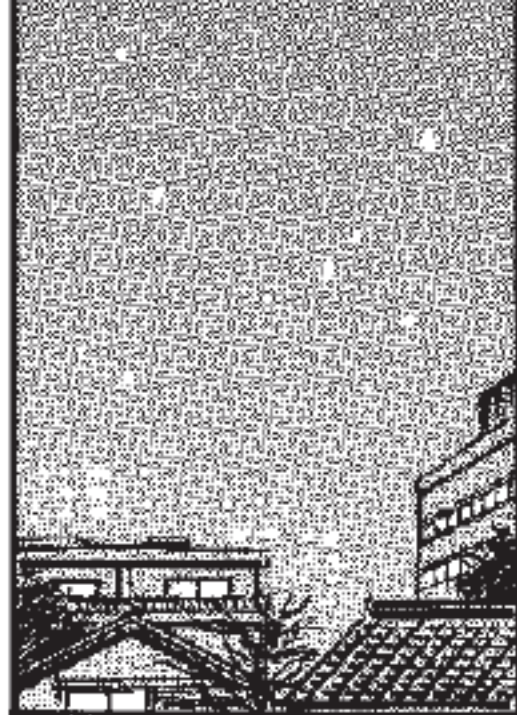


もしもし
分会長ですか
吉田です

どうしたんだ



組合を本当に
脱退したらどう
なるんだろう……



ああなって
しまったら
今は何も言えない
明日またきて
くれ

分かりました



キャンプの
メンバーに
ついては
その場で
明かさざるを
得ないぞ



そして、その夜

明日君のことで
職場集会を開く
から出て
くれ

はい

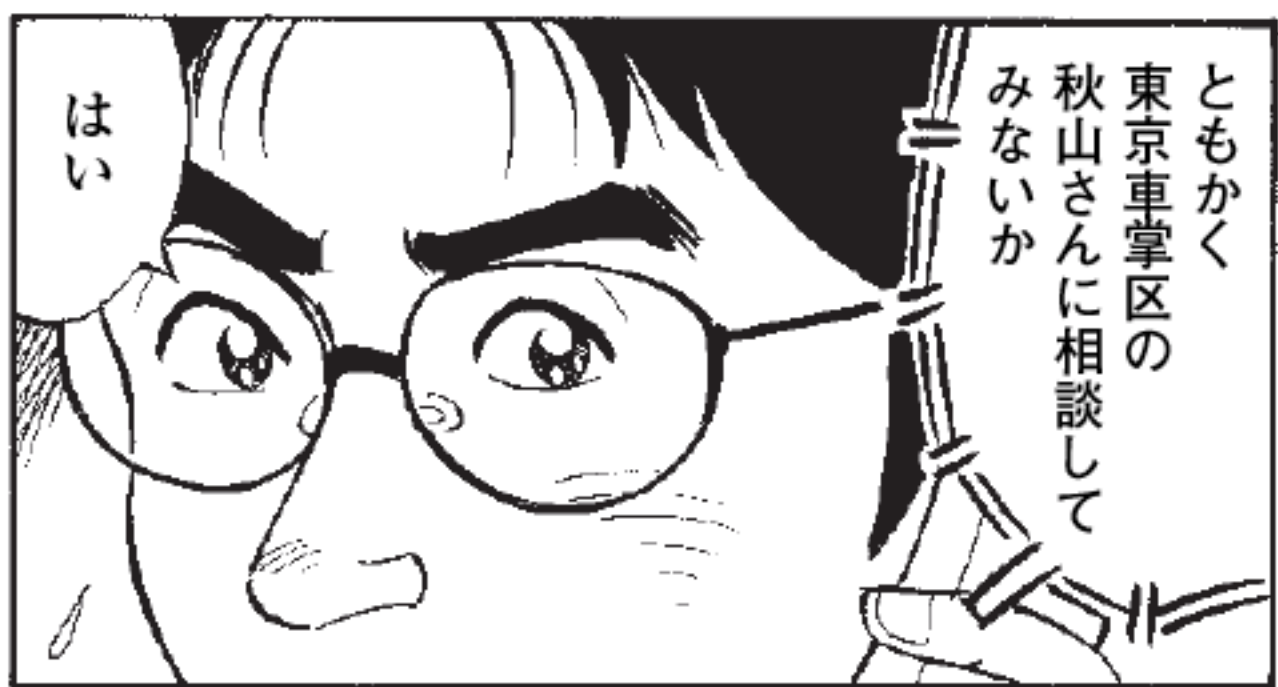


キャンプに行った程度
のことがなせそんな
問題となるんでしょうか
理解できません

そうか
まずいことにな
ったな



キャンプに行った
メンバーの名前を
教えろと言うんです



ともかく
東京車掌区の
秋山さんに相談して
みないか

はい



キャンプに行ったことが問題になってるんです

うーん
どうしよう
こういう話に
すれば追及されずに
済むんじゃないか



一緒に
キャンプに行った
斎藤さんは
東労組を脱退して
グリーンユニオンに
加入している

キャンプに行かない？

そこで斎藤さんを東労組に戻すためにキャンプを計画したという
ことにするのだ

ただし
吉田君は
キャンプ場に
着くまで斎藤さんの
参加を知らされて
いなかった
現地ではじめて
会ったという
ことにするんだ

どこ

あれ
吉田君

斎藤さん

どうだろう
これならつじつまが
合うだろう

そんな話で
誤摩化さなければ
いけないんだ
ろうか

しかし、この作り話も
やがて、吉田氏が攻撃
される恰好の材料に
なってしまった。